

九条はらまち

「はらまち九条の会」会報 No. 320

2018(平成30)年 9月30日(日) 発行



◆8月8日、沖縄県翁長雄志(おなが・たけし)知事が67歳で死去。2年前に報道機関との懇談会で「政権の何が一番だめなのか」と聞かれて、「政権には愛がない」と答えたそうです。国民や県民の声を無視し愚弄し、アメリカの言うままに肅々と辺野古基地建設を強行する冷酷な現政権。巧妙に騙され続ける福島も全く同じです。◆9月15日に75歳で死去の樹木希林さんは、「戦争は私たちが被害者だけでなく加害者にもする。子どもや孫に戦争の悲しみを伝えたい。」と話す。◆“ちびまる子ちゃん”や“サザエさん”のフネさんも、平凡なふだんの「日常」を描くことで、「戦争なんかとんでもないよ、みんな仲良くしようよ」と静かに語っているのでしょう。

11月3日(土) あきいちで“改憲NO! 署名活動”

「改憲はダメ」とみんなで市民に訴えましょう



◇秋の原町名物“あきいち”ですが、今年本会では、特にブースは設けず旭公園付近の駅通りで、チラシを配り「安倍9条改憲NO!」の署名活動、「憲法を守ろう」と訴えます。会員の皆さまもちよつとの勇気を出し、可愛い孫や子のため、ご一緒に活動しましょう。

◇同時にコーヒーを振る舞う“九条カフェ”や、朝倉悠三さん(会員)の「震災絵日記」(『福島民報』に連載中)展示も行います。



お気軽にお出かけください♪お待ちしております♪

「日本の平和憲法 マレーシア憲法にも盛り込みたい」

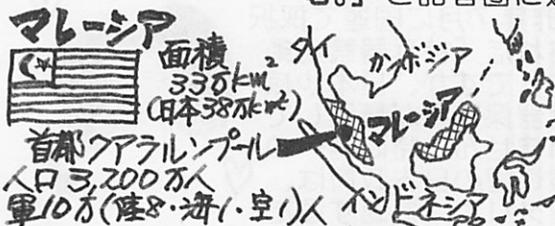
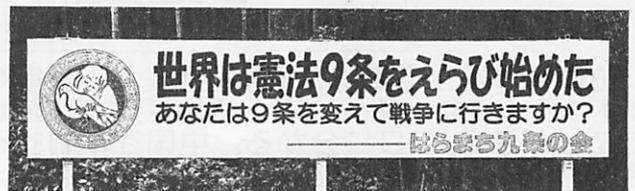
私たちの〈看板〉のスローガンが現実になりそうです

○私たち「はらまち九条の会」の願いは、〈右看板〉に掲げているように、憲法9条が世界に広がり、平和な地球になることです。



○8月7日、福岡県を訪問中のマレーシアのマハティール首相〈写真〉は、

「日本は自衛以外の戦争を拒否している。マレーシアでも憲法の一部として、平和(条項)、つまり侵略戦争をしないということを盛り込む。」と記者団に述べ、日本の平和憲法にならう意欲を示した。



○マハティール首相は親日家で「日本は核が使われた唯一の国で、原子爆弾が一つ落とされるだけで、住む人を全て死に追いやる力があることを理解している。」と核廃絶に果たす日本の役割にも期待を寄せた。 <2018年8月8日『東京新聞』>

○さらにマハティール首相は9月28日、米の国連本部で記者会見し、日本で憲法改正の動きが出ていることについて、「(日本が)戦争に行くことを許すようにするなら後退だ」と述べていますが、嬉しい発言ですね。 <2018年9月30日『朝日新聞』>

もう、戦前のヒトラーの時代に戻つつあるのでしょうか

前のめりの防衛省！

●このところ、防衛省・自衛隊の、前のめりの状況が次々報道されています。それは3年前の2015年9月19日に成立した「安全保障関連法（戦争法）」のためで、懸念されていたことが現実になってきています。皆さんはどう思われますか。

来年度防衛予算 過去最高の5兆円

来年度の平成31年度防衛予算は、5兆2986億円と要求。これは過去最大、アメリカの武器購入などトランプの言いなりの増額です。

海上自衛隊潜水艦など4隻

活動がエスカレートする自衛隊

南シナ海で訓練



防衛省が海上自衛隊の潜水艦1隻と、護衛艦3隻の計4隻を、南シナ海へ極秘派遣し訓練したことが9月13日に分かる。中国を牽制する名目で、政府は「国際法の正当な活動」と説明。

陸上自衛隊 多国籍軍へ派遣を検討

政府は、エジプト東部のシナイ半島で、イスラエル・エジプト両軍の活動を監視する多国籍監視軍(MFO)に、初めて陸上自衛隊員2人の派遣を検討しているという。安倍政権の言う「積極的平和主義」で、国連の平和維持活動(PKO)を超える活動参加になる。

「安保法(戦争法)」で集団的自衛権が認められるとして、まずお試しに2人で実績を作り、さらに大勢を派遣する目論見なのでしょうか。「成立させた法律は実績を作りたい」「作った武器は使ってみよう」というのが、為政者や権力者、軍人の常と言います。不安なことです。

ドイツの牧師で反ナチ運動の指導者

〈マルティン・ニーメラーの言葉〉

ナチが共産主義者を襲ったとき、自分はやや不安になった。

けれども結局自分は共産主義者でなかったのでも何もしなかった。

それからナチは社会主義者を攻撃した。自分の不安はやや増大した。

けれども自分は依然として社会主義者ではなかった。そこでやはり何もしなかった。

それから学校が、新聞が、ユダヤ人が、というふうに次々と攻撃の手が加わり、そのたびに自分の不安は増したが、なおも何事も行わなかった。

さてそれからナチは教会を攻撃した。そうして自分はまさに教会の人間であった。そこで自分は何かをした。しかしそのときはすでに手遅れであった。



丸山眞男訳著書

『現代における人間と政治』より

○2013年7月、麻生太郎副総理は、「誰も気がつかないうちにワイマール憲法をナチス憲法に変えたように、あのナチスの手法に学んだらどうかね」と講演会で公言。こんな人物が政権の中核にいていいのか。戦前に戻っているのか。

核禁止条約「声出して働きかけよう」

吉永小百合さん、呼びかけ

昨年7月に国連で採択された「核兵器禁止条約」ですが、日本や核兵器保有国が賛同していません。特に唯一の被爆国の日本政府は、アメリカに追随するだけです。吉永さんも9月24日、東京・明治大学でのNGOの集いで、「市民が声を出して政府や世界に働きかけよう」と呼びかけました。ステキ！小百合さん♡

